

おきたま米づくり情報 No.7

平成 29 年 8 月 4 日

JA山形おきたま
オールやまがた米づくり日本一運動
置賜地域本部実践班

今後は「きめ細かな水管理」と「病害虫防除の徹底」を！ 台風によるフェーン現象に注意！

出穂期は概ね平年並みとなる見込みです。出穂が見え始めたら、すぐに田んぼへ水を入れましょう。「フェーン現象」など高温や強風が予想される場合は、一時的に湛水しましょう。

斑点米カメムシ類の注意報が発表されました。また、いもち病も散見されます。地域ぐるみの防除対策を徹底し、被害を最小限に抑えましょう。

きめ細かな水管理で、品質向上！

1. 出穂期～穂揃期の水管理

- ・イネが生理的に活発な時期
→ 特に多く水分を必要とするので、湛水状態を保つ

水の入っていない田んぼは、直ちに入水！

2. 登熟期の水管理

- ・湛水期間を短くした間断灌漑や飽水管理を行う（下表参照）
- ・登熟や、粒張り、胴割粒・白未熟粒の発生などに大きく影響

落水時期 → 出穂後 30 日頃を厳守！

→ 落水時期が早いと、米粒が太らず、食味も低下

表 出穂後日数と水管理の目安

～20 日	くぼみに一部水がある程度より乾かさない。
21～30 日	足を入れてかかとの部分に一部水がにじみ出る程度。
31 日以降	落水。黒乾亀裂（一部小ヒビの入る程度）

病害虫防除の徹底を！

1. 穂いもちの発生に注意！

・ 葉いもちの発生が各地で見られています。ほ場をよく観察し、早期発見に努めましょう！

発生を確認した場合 → **直ちに治療効果のある薬剤で防除！**



穂いもち

2. 斑点米カメムシ類防除の徹底を！

**県下全域、斑点米カメムシ類の注意報発表！過去 10 年間で最も発生多い！
置賜地域も同じ！**

表 斑点米カメムシ類すくい取り調査結果 畦畔・農道 (7月 18~31日)

市町名	確認地点率 (%)	平均虫数 (頭) (20回すくい取り調査)
米沢市	100%	11.9
南陽市	86%	11.0
高畠町	80%	10.3
川西町	83%	10.6
長井市	67%	3.8
小国町	57%	5.2
白鷹町	75%	6.1
飯豊町	86%	17.8

アカスジカスミカメ、
アカヒゲホリミドリカスミカメ多い！



アカスジカスミカメ

被害を防ぐには「広域で！一斉に！」防除を行うことが重要！

- ・ **2回の基本防除（穂揃期と穂揃期 7～10日後）を徹底する**
- ・ 基本防除後、水田内のすくいとり調査を実施し、結果をお知らせします。状況に応じ、補完防除（2回目の 7～10日後）を実施する
- ・ 畦畔・農道等、水田周辺の草刈りを、やむを得ず行う場合は、防除直前に実施する

◎ 熱中症や農作業事故に注意

暑い日が続いています。農作業は、休息をとりながら、水分や塩分の補給を十分に行いましょう。ケイタイ電話をケイタイし、複数人数で行いましょう

◎ 山形県農薬危害防止運動実施中（実施期間 6月 1日～8月 31日）

農薬使用基準（収穫全使用日数、使用回数など）を遵守し、また、周辺ほ場の農作物や住宅地等への飛散にも十分留意しましょう